

証券コード 5208

<https://www.arisawa.co.jp>



2026年3月期 第2四半期 連結決算の概要



2025/11/6

株式会社 有沢製作所

目次

- 2026年3月期 第2四半期 連結決算
- 2026年3月期 業績予想
- 参考資料

(百万円)	25/3期 上期 実績	26/3期 上期 8/7予想	26/3期 上期 実績	前年 同期比	8/7 予想比
売上高	25,172	24,600	26,537	5.4%	7.9%
営業利益	2,734	2,100	2,454	-10.2%	16.9%
営業利益率	10.9%	8.5%	9.3%		
経常利益	2,917	2,200	2,154	-26.1%	-2.1%
純利益	2,122	1,500	1,562	-26.4%	4.1%
一株利益(円)	63.91	45.15*	47.00	-26.5%	4.1%
配当金(円)	42.00	44.00	44.00	--	--
為替レート (円/\$)	平均 152.36 期末 142.73	148.40 140.00	148.40 148.88	--	--

* 6月30日現在の発行済株式数で試算

前年同期比

- 売上高は、主に電子材料が増加し、13億65百万円(前年同期比5.4%)の増収。
- 営業利益は、品種構成の変化により、2億79百万円(同10.2%)の減益。
- 経常利益は、為替差損により、7億62百万円(同26.1%)の減益。
- 当期純利益は、5億59百万円(同26.4%)の減益。

8/7予想比

- 売上高は、各セグメントで増加し、19億37百万円(予想比7.9%)の増収。
- 営業利益は、売上高の増加に伴い、同16.9%の増益。
- 経常利益は、為替の影響により同2.1%の減益、当期純利益は同4.1%の増益。

(百万円)	25/3期 上期実績	26/3期 上期予想 (8/7)	26/3期 上期実績	前年 同期比 増減
売上高	25,172	24,600	26,537	+1,365 主に電子材料の増収による
売上総利益 販売費及び一般管理費	6,190 (24.6%) 3,456		6,025 (22.7%) 3,570	
営業利益	2,734 (10.9%)	2,100 (8.5%)	2,454 (9.3%)	-279 品種構成の変化による
為替差損益 その他営業外損益	94 89		-339 39	
経常利益	2,917 (11.6%)	2,200 (8.9%)	2,154 (8.1%)	-762 為替差損による
有価証券売却益 その他特別損益	0 9		70 -6	
税引前利益	2,926	2,200	2,218	
法人税等他	804		656	
親会社に帰属する四半期純利益	2,122 (8.4%)	1,500 (6.1%)	1,562 (5.9%)	-559

※()内は利益率を表す。

貸借対照表

(百万円)	25/3	25/9	増減	
(資産の部)				
流動資産	49,527	48,863	-663	現金預金 -3,010、売掛債権 +1,706、 棚卸資産 +687
有形固定資産、無形固定資産	19,065	23,910	+4,845	設備投資による
投資有価証券	1,969	3,122	+1,153	有沢建興の株式取得による
その他の資産	1,175	1,269	+94	
資産合計	71,736	77,165	+5,429	
(負債の部)				
流動負債	18,582	24,788	+6,206	設備投資等に伴う
固定負債	4,594	4,086	-508	長期借入金 -381
負債合計	23,177	28,875	+5,698	
株主資本	44,147	44,001	-145	利益剰余金 -236
その他包括利益合計、新株予約権	4,411	4,288	-123	為替換算調整 -195
負債純資産合計	71,736	77,165	+5,429	

2026年3月期 上期の前年同期比増減分析

(百万円)	売上高			セグメント利益		
	25/3期 上期 実績	26/3期 上期 実績	増減	25/3期 上期 実績	26/3期 上期 実績	増減
電子材料	15,229	17,217	1,988	1,296	1,685	388
FPC用材料(有沢製作所)	8,818	9,719	901			
FPC用材料(ThinFlex)	4,566	5,286	720			
ICGC・プリプレグ	952	1,308	356			
プリント配線板(サトーセン)	893	904	11			
産業用構造材料	6,026	6,081	55	1,182	1,218	36
ハニカムパネル	769	999	230			
水処理用FRP製圧力容器	3,990	3,825	-165			
その他	1,267	1,257	-10			
電気絶縁材料	1,180	1,265	85	33	92	59
ディスプレイ材料	2,545	1,804	-740	921	324	-596
関連商品・その他	192	168	-23	114	120	6
合計	25,172	26,537	1,365	3,546	3,441	-104
			全社費用	-812	-987	
			営業利益	2,734	2,454	-279

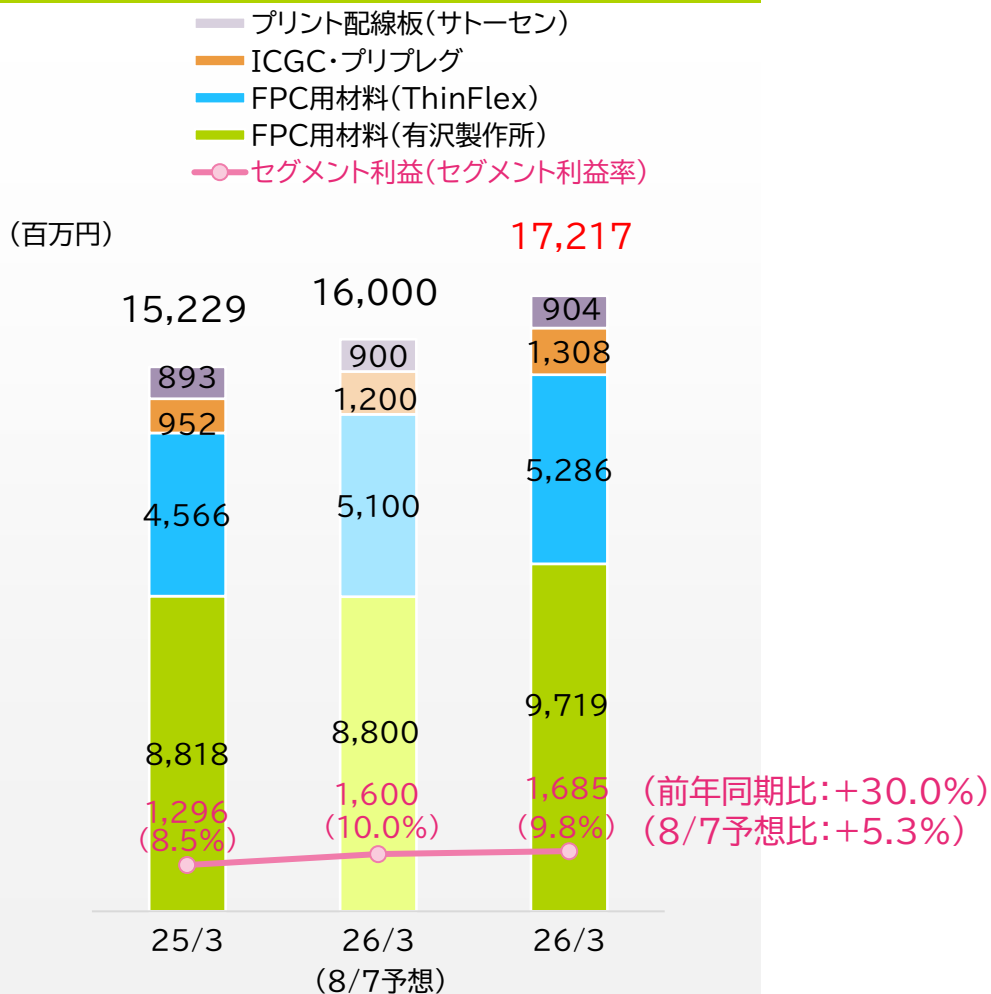
- 売上高は、電子材料、産業用構造材料および電気絶縁材料が増加し、13億65百万円(前年同期比5.4%)の増収。
- 営業利益は、品種構成の変化により、同10.2%の減益。
- 電子材料の売上高は、スマートフォンに加え半導体が好調に推移し同13.1%の増収。
- 産業用構造材料は、ハニカムパネルの需要回復により同0.9%の増収。
- ディ스플레이材料は、3D関連材料および偏光利用部材が軟調に推移したことにより同29.1%の減収。

2026年3月期 上期の8月7日予想との増減分析

	売上高			セグメント利益		
	26/3期 上期 8/7予想	26/3期 上期 実績	増減	26/3期 上期 8/7予想	26/3期 上期 実績	増減
電子材料	16,000	17,217	1,217	1,600	1,685	85
FPC用材料(有沢製作所)	8,800	9,719	919			
FPC用材料(ThinFlex)	5,100	5,286	186			
ICGC・プリプレグ	1,200	1,308	108			
プリント配線板(サトーセン)	900	904	4			
産業用構造材料	5,600	6,081	481	1,050	1,218	168
ハニカムパネル	900	999	99			
水処理用FRP製圧力容器	3,800	3,825	25			
その他	900	1,257	357			
電気絶縁材料	1,150	1,265	115	50	92	42
ディスプレイ材料	1,700	1,804	104	300	324	24
関連商品・その他	150	168	18	100	120	20
合計	24,600	26,537	1,937	3,100	3,441	341
			全社費用	-1,000	-987	
			営業利益	2,100	2,454	354

- 売上高は、各セグメントが増加し19億37百万円(予想比7.9%)の増収。
- 営業利益は、売上高の増加に伴い、3億54百万円(同16.9%)増益。
- 電子材料の売上高は、FPC用材料(主に有沢製作所)およびICGC・プリプレグが予想を上回った。
- 産業用構造材料は、車載材料が予想を上回った。
- ディ스플레이材料は、3D関連材料および偏光利用部材ともに予想どおりに推移した。

電子材料 売上高



市場

- スマートフォンおよび半導体の需要は堅調に推移している。

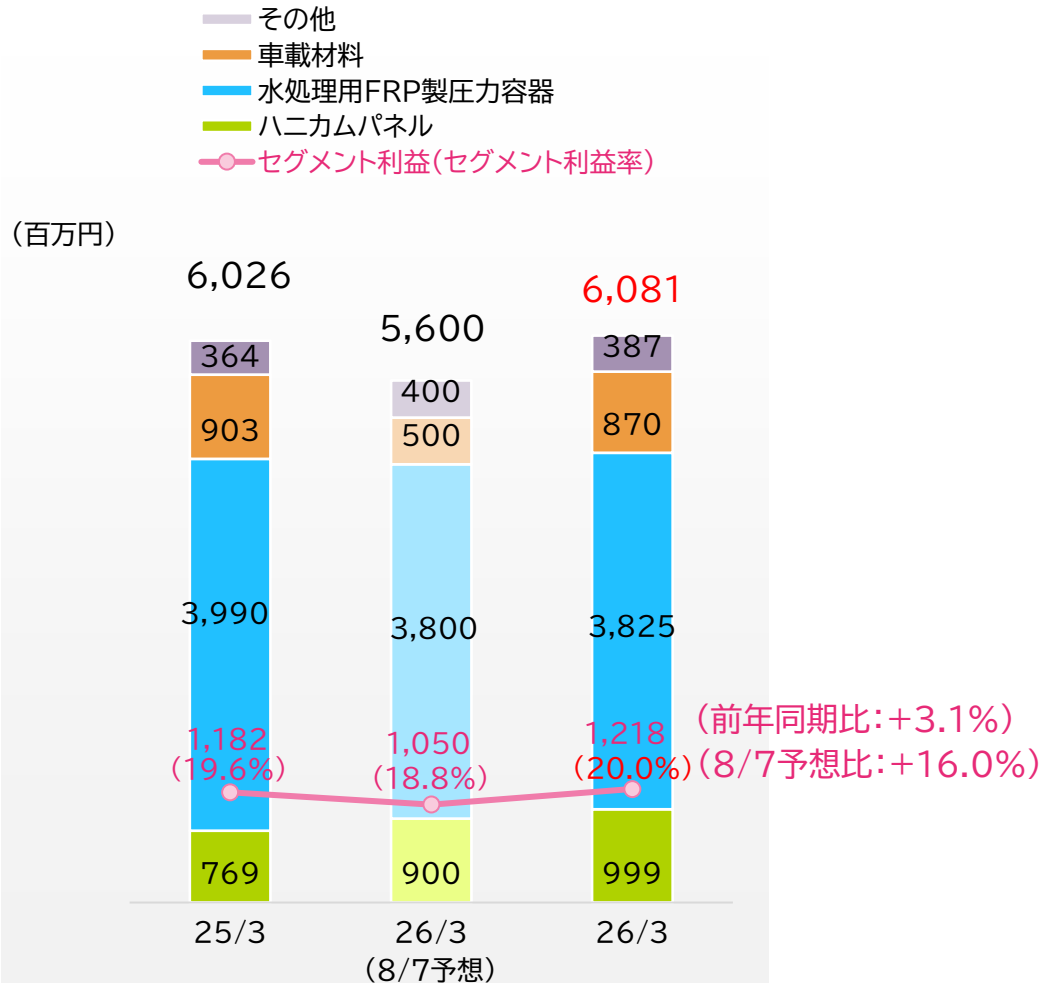
業績・・前年同期比

- FPC用材料、ICGC・プリプレグが増加し、19億88百万円(前年同期比13.1%)の増収。
 - FPC用材料(有沢製作所)は、スマートフォンおよび半導体向けが堅調で、同10.2%増収。
 - FPC用材料(ThinFlex)は、中華系スマートフォンが堅調で、同15.8%増収。
 - ICGC・プリプレグは、同37.4%増収。
 - プリント配線板は、同1.3%増収。
- 売上高の増加により、セグメント利益は3億89百万円(同30.0%)の増益。

業績・・8/7予想比

- FPC用材料(主に有沢製作所)およびICGC・プリプレグが堅調に推移し、12億17百万円(予想比7.6%)の増収。
- セグメント利益は同85百万円(同5.3%)の増益。

産業用構造材料 売上高



市場

- 世界的な水需要の増加により飲料水・工場用水などの水処理用材料が堅調に推移している。
- コロナ後の経済正常化に伴い、航空需要は緩やかに回復を続けている。

業績・・前年同期比

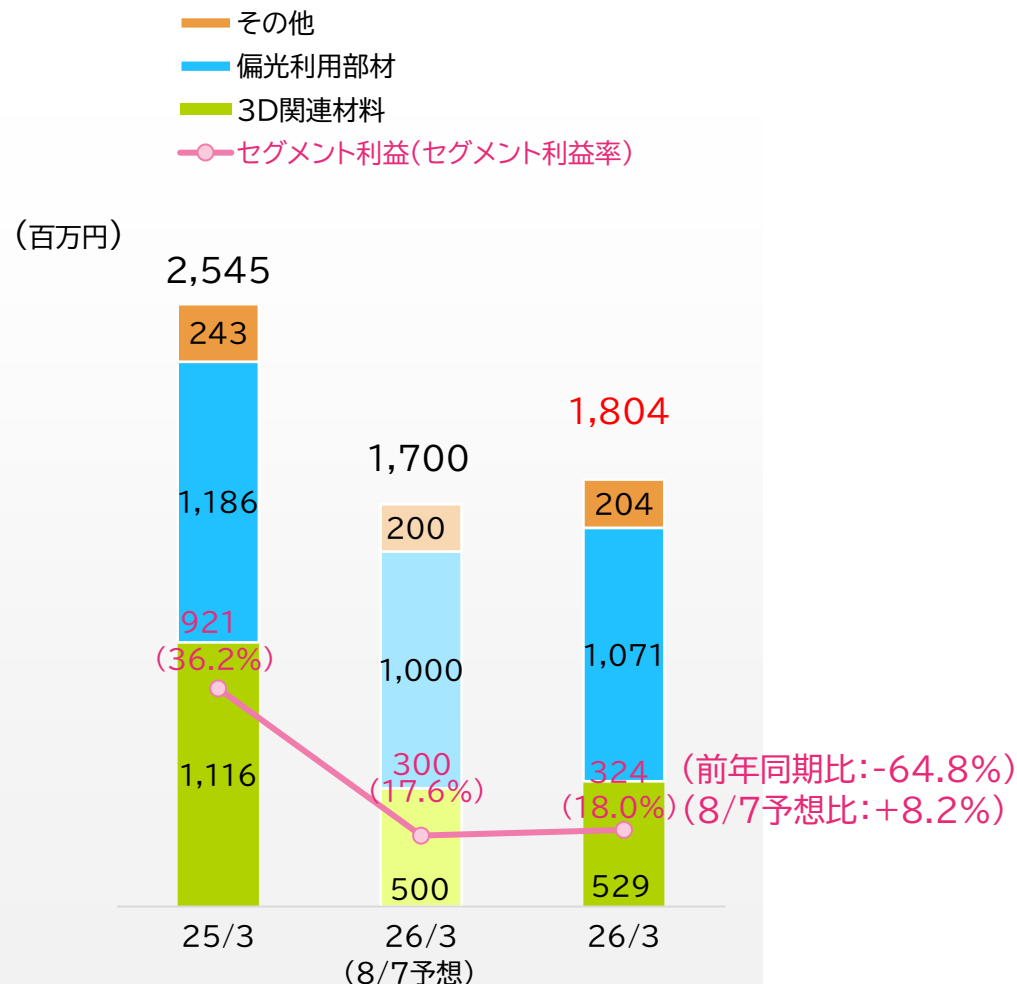
- ハニカムパネルの需要回復により55百万円(前年同期比0.9%)の増収。
 - ハニカムパネルは同30.0%増収。
 - 水処理用FRP製圧力容器は、為替の影響もあり同4.1%減収。
 - 車載材料は、3.7%減収。
- セグメント利益は同36百万円(同3.1%)の増益。

業績・・8/7予想比

- 売上高は、車載材料が予想を上回った。
- セグメント利益は、予想比1億68百万円(同16.0%)の増益。

2026年3月期 上期の概況・・ディスプレイ材料

ディスプレイ材料 売上高



市場

- ・ 3D関連材料は、上期は在庫調整局面となった。
- ・ 医療用途以外への展開を図るため、産業分野の開拓活動を始めている。

業績・・前年同期比

- ・ 3D関連材料および偏光利用部材の売上が減少し、7億40百万円（前年同期比29.1%）減収。
- ・ 3D関連材料は、同52.6%減収。
- ・ 偏光利用部材は、同9.6%減収。
- ・ 減収、品種構成の影響により、セグメント利益は5億96百万円（同64.8%）の減益。

業績・・8/7予想比

- ・ 売上高は、1億4百万円（予想比6.2%）の増収。
- ・ セグメント利益は、24百万円（同8.2%）の増益。

目次

- 2026年3月期 第2四半期 連結決算
- 2026年3月期 業績予想
- 参考資料

2026年3月期 通期 連結予想



(百万円)	25/3期 通期 実績	26/3期 通期 8/7予想	26/3期 通期 11/6予想	前期比	8/7 予想比
売上高	49,815	51,400	51,400	3.2%	±0.0%
営業利益	4,893	4,500	4,500	-8.0%	±0.0%
営業利益率	9.8%	8.8%	8.8%		
経常利益	5,267	4,500	4,500	-14.6%	±0.0%
純利益	3,969	3,200	3,200	-19.4%	±0.0%
一株利益(円)	119.49	96.32*	96.15**	-19.5%	-0.2%
配当金(円)	合計 96.00	合計 88.00	合計 88.00	--	--
為替レート (円/\$) 平均 期末	151.69 149.52	143.00 135.00	145.00 147.50	--	--

* 6月30日現在の発行済株式数で試算

** 9月30日現在の発行済株式数で試算

前期比

- 売上高は、電子材料・産業用構造材料が増加し、15億84百万円(前期比3.2%)の増収。
- 営業利益は、品種構成の変化により3億93百万円(同8.0%)の減益。
- 経常利益は、為替の影響により同14.6%の減益。
- 当期純利益は、同19.4%の減益。

8/7予想比

- 売上高は、全体では8/7予想を修正しないが、産業用構造材料を上方修正し、電子材料、ディスプレイ材料を下方修正する。
- 営業利益、経常利益、当期純利益も8/7予想並み。

2026年3月期 通期予想の前期比増減分析



(百万円)	売上高			セグメント利益		
	25/3期 通期 実績	26/3期 通期 11/6予想	増減	25/3期 通期 実績	26/3期 通期 11/6予想	増減
電子材料	31,477	32,700	1,222	2,854	3,150	295
FPC用材料(有沢製作所)	17,520	17,600	80			
FPC用材料(ThinFlex)	10,092	10,800	707			
ICGC、プリプレグ	2,067	2,450	382			
プリント配線板(サトーセン)	1,798	1,850	51			
産業用構造材料	10,616	12,500	1,883	1,762	2,400	637
ハニカムパネル	1,160	2,300	1,139			
水処理用FRP製圧力容器	7,254	7,900	645			
その他	2,202	2,300	97			
電気絶縁材料	2,457	2,300	-157	170	150	-20
ディスプレイ材料	4,913	3,600	-1,313	1,729	600	-1,129
関連商品・その他	352	300	-52	210	200	-10
合計	49,815	51,400	1,584	6,725	6,500	-225
			全社費用	-1,832	-2,000	
			営業利益	4,893	4,500	-393

市場予想

- ・ スマートフォンの需要は堅調に推移する。
- ・ 下期も、飲料水・工場用水などの水処理用材料が堅調に推移する。
- ・ ハニカムパネルは、下期以降も好調に推移する。
- ・ 医療用モニター、偏光利用部材は、需要が低迷する。

業績予想(前期比)

- ・ 電子材料、産業用構造材料の売上増により、売上高は15億84百万円(前期比3.2%)の増収を見込む。
- ・ 営業利益は、品種構成の変化により、3億93百万円(同8.0%)の減益を見込む。

2026年3月期 通期予想の8/7予想比増減分析

(百万円)	売上高			セグメント利益		
	26/3期 通期 8/7予想	26/3期 通期 11/6予想	増減	26/3期 通期 8/7予想	26/3期 通期 11/6予想	増減
電子材料	33,000	32,700	-300	3,400	3,150	-250
FPC用材料(有沢製作所)	17,600	17,600	0			
FPC用材料(ThinFlex)	11,000	10,800	-200			
ICGC、プリプレグ	2,500	2,450	-50			
プリント配線板(サトーセン)	1,900	1,850	-50			
産業用構造材料	12,100	12,500	400	2,200	2,400	200
ハニカムパネル	2,300	2,300	0			
水処理用FRP製圧力容器	7,500	7,900	400			
その他	2,300	2,300	0			
電気絶縁材料	2,300	2,300	0	100	150	50
ディスプレイ材料	3,700	3,600	-100	600	600	0
関連商品・その他	300	300	0	200	200	0
合計	51,400	51,400	0	6,500	6,500	0
全社費用				-2,000	-2,000	
営業利益				4,500	4,500	0

業績予想(予想比)

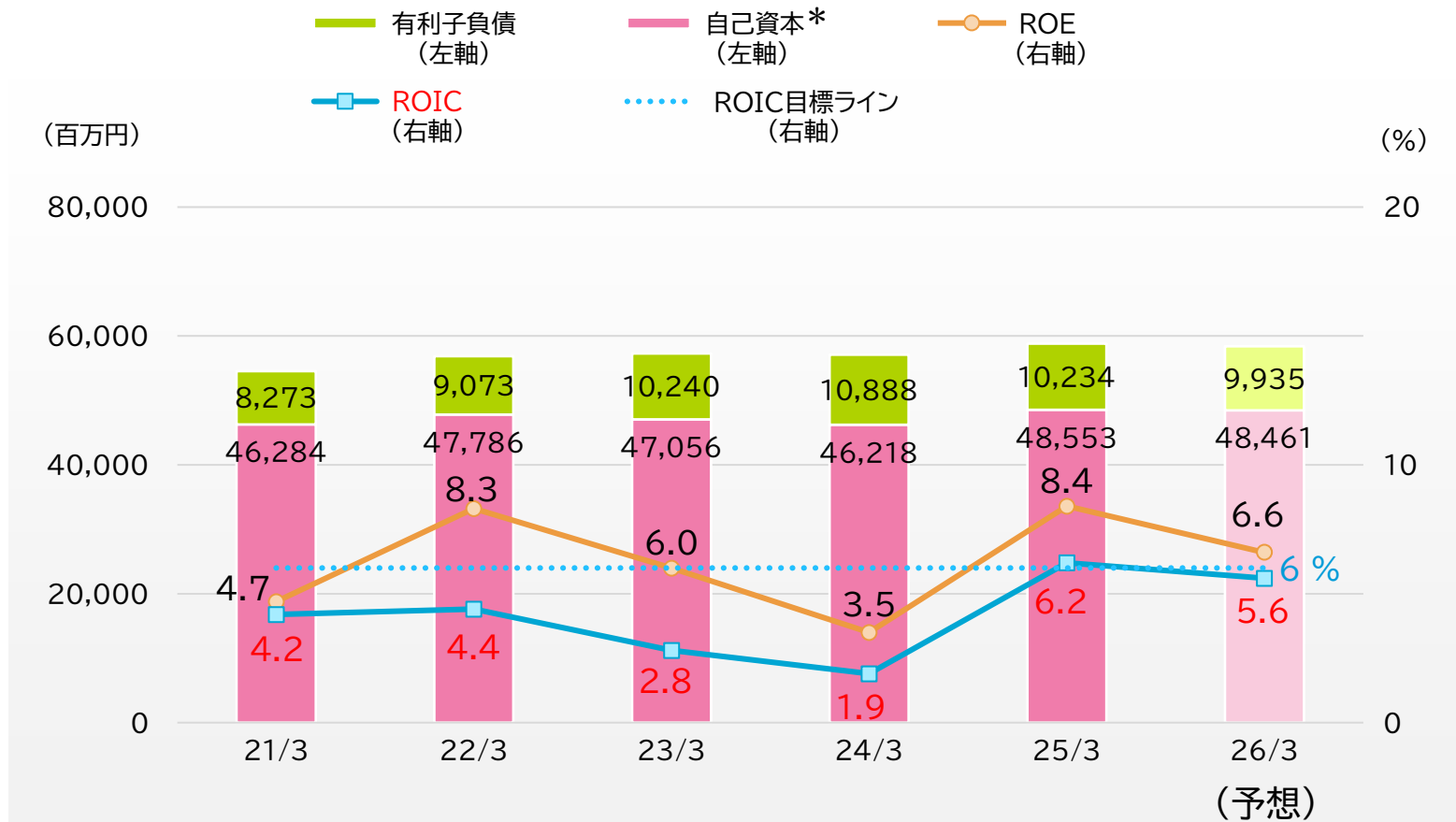
- 産業用構造材料は上期の好調が持続する見通しである一方、電子材料、ディスプレイ材料は下方修正。
- 売上高、営業利益は、全体では8/7予想並みを見込む。
- 電子材料は、3億円(予想比0.9%)の減収。
- 産業用構造材料は、4億円(同3.3%)の増収。
- ディスプレイ材料は、1億円(同2.7%)の減収。
- 上期実績および下期見通しの変化を踏まえ、各セグメントの業績予想の見直しを実施。



ROE・ROICの推移

ROE = 当期純利益 / 自己資本

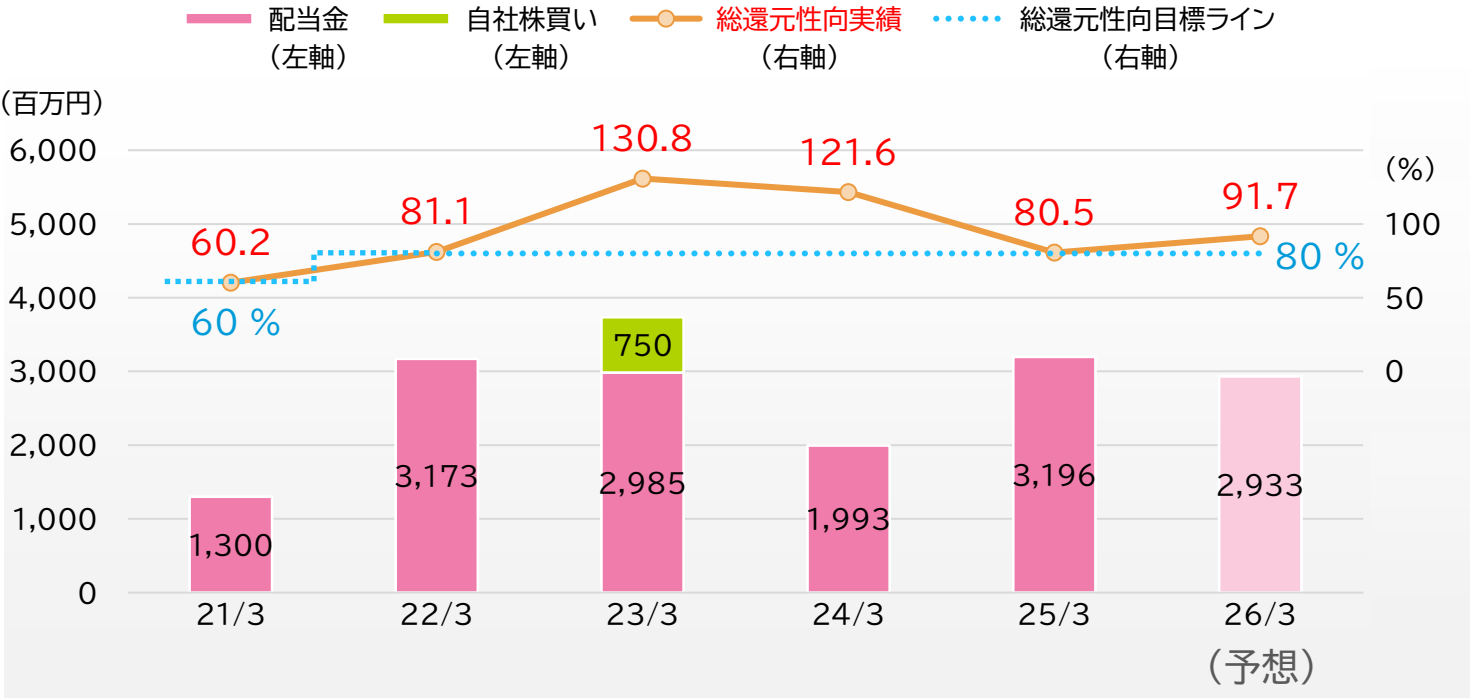
ROIC = 税引き後営業利益 / (自己資本 + 有利子負債)



- ・ '26/3期のROICは、営業利益の減少により5.6%を見込む。

*自己資本は、純資産合計から株式引受権、新株予約権および非支配株主持分を除いている

配当金・総還元性向の推移



株主還元方針

- 安定性を志向した指標である「株主資本配当率(DOE)6%」と「総還元性向 80%以上」のいずれか高い方を株主還元とする。(適用期間:自己資本比率 50%程度を達成できる時期まで)

	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3	26/3
株価(円/株)*	1,000	957	1,254	1,137	1,384	—
配当金(円/株)	39	95	90	60	96	合計 88 (予想)
配当利回り(%)	3.9	9.9	7.2	5.3	6.9	—

* 各年度末の終値

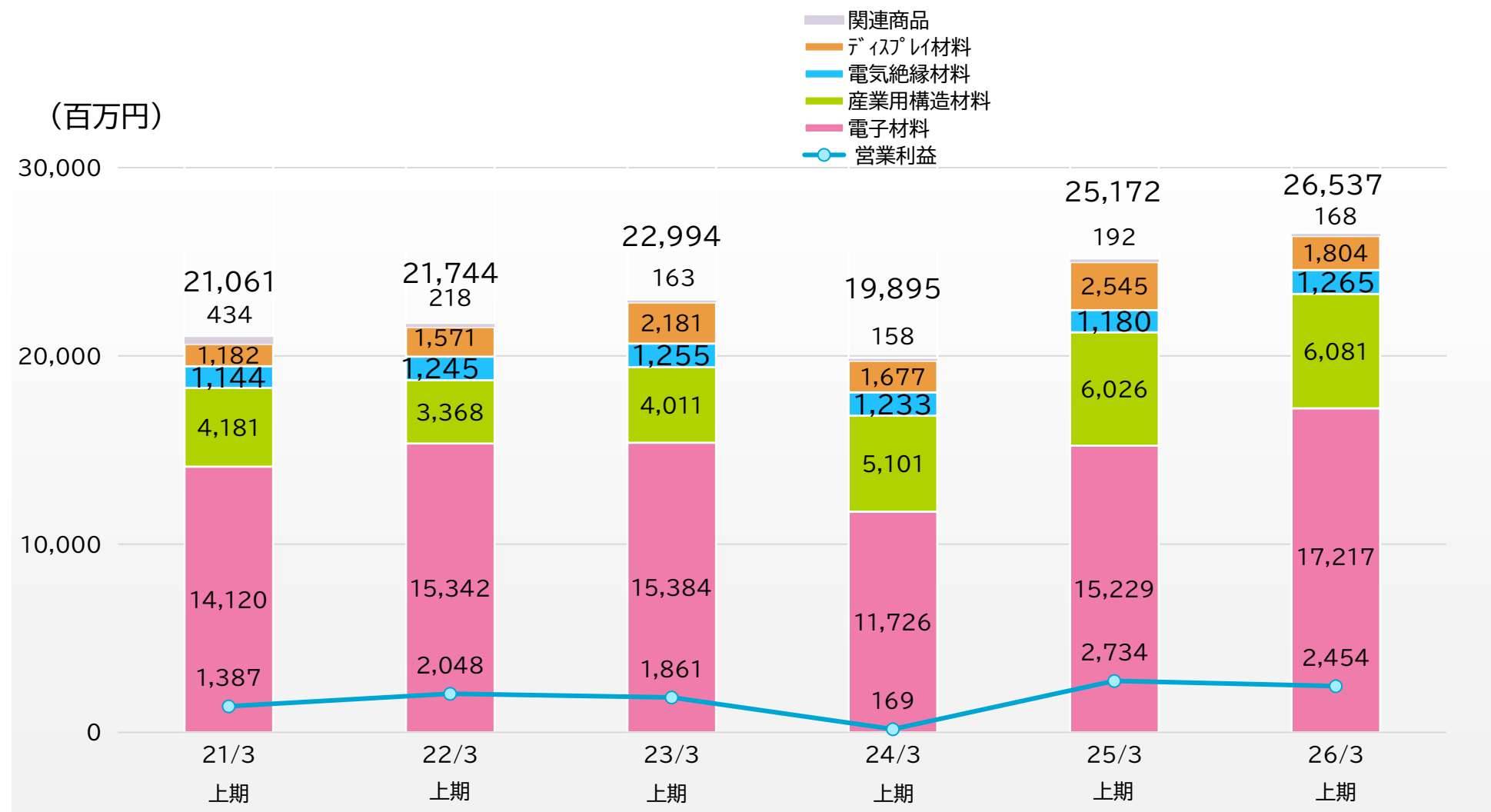
目次

- 2026年3月期 第2四半期 連結決算
- 2026年3月期 業績予想
- 参考資料

会社別 上期業績(前年同期比・予想比)

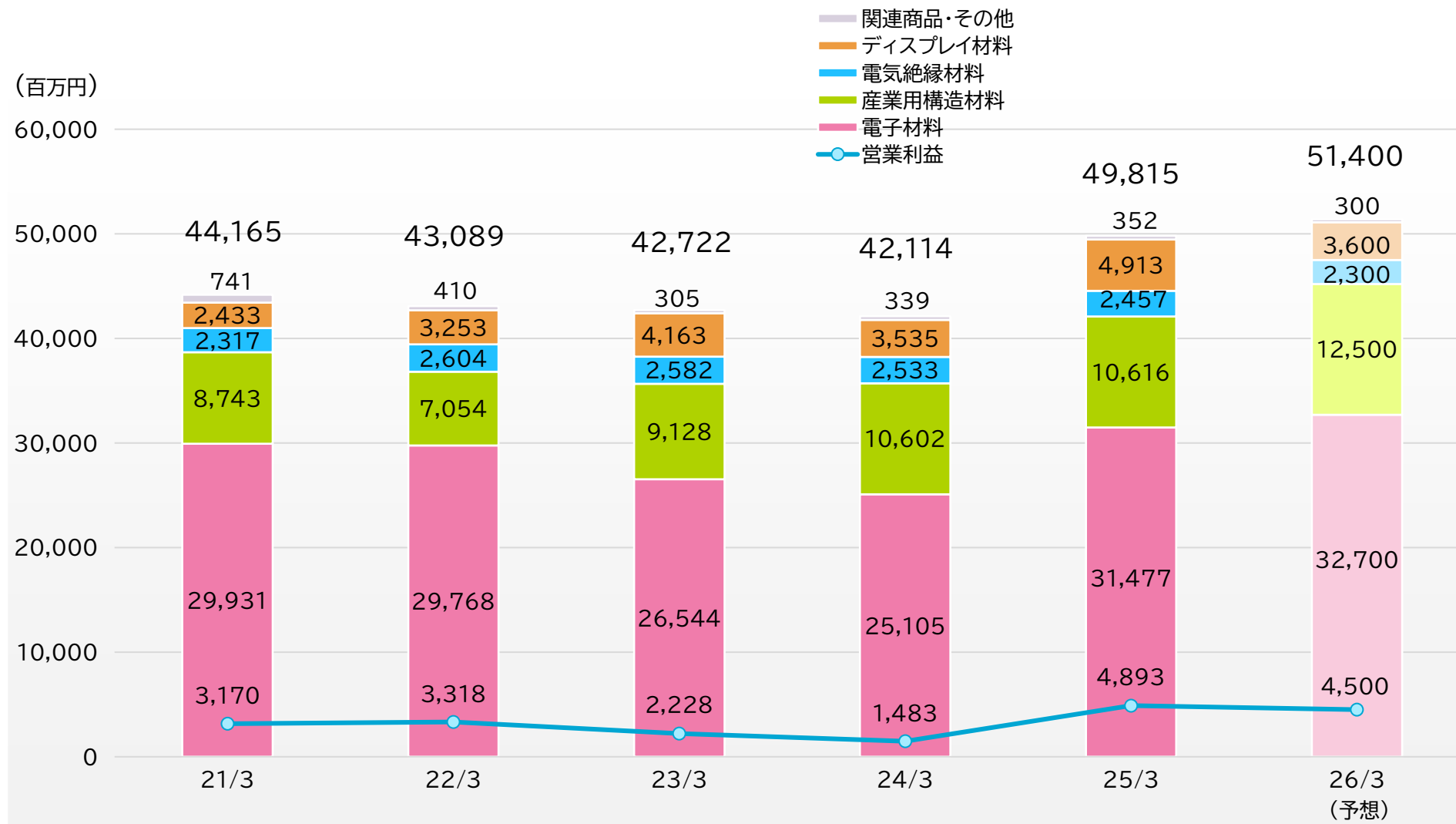
(百万円)	売上高					営業利益				
	25/3期 上期 実績	26/3期 上期 予想 (8/7)	26/3期 上期 実績	増減		25/3期 上期 実績	26/3期 上期 予想 (8/7)	26/3期 上期 実績	増減	
				対前年 同期	対予想				対前年 同期	対予想
単体										
有沢製作所	15,765	15,200	16,568	803	1,368	1,507	1,100	1,342	-165	242
連結会社										
シンフレックス	5,423	6,100	6,103	680	3	99	90	91	-8	1
サトーセン	894	900	905	11	5	41	10	1	-40	-9
アリサワファイバーグラス	1,068	1,300	1,370	302	70	27	80	73	46	-7
プロテック	3,880	3,700	3,710	-170	10	729	670	670	-59	0
有沢総業	934	1,000	1,017	83	17	54	60	61	7	1
有沢樹脂工業	126	150	195	69	45	2	0	27	25	27
カラーリンク・ジャパン	1,186	1,000	1,075	-111	75	204	90	127	-77	37
(連結消去額)	-4,104	-4,750	-4,406			71	0	62		
合 計	25,172	24,600	26,537	1,365	1,937	2,734	2,100	2,454	-279	354

分野別の上期業績推移(売上高・営業利益)



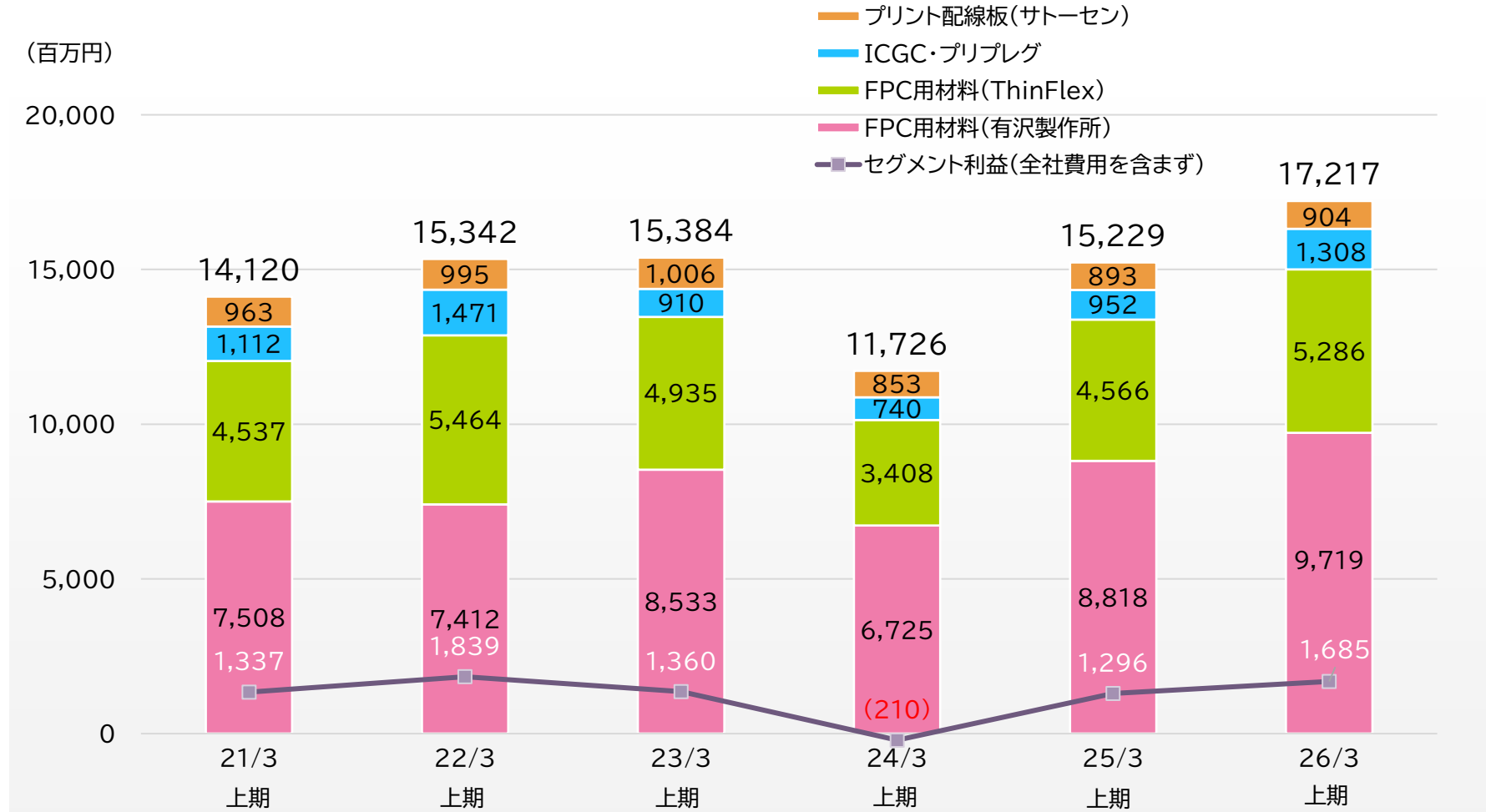
’22/3期から収益認識基準を適用。(参考として’21/3期も遡及適用)

分野別の通期業績推移(売上高・営業利益)



'22年3月期から収益認識基準を適用。(参考として'21年3月期も遡及適用)

電子材料の上期売上高推移

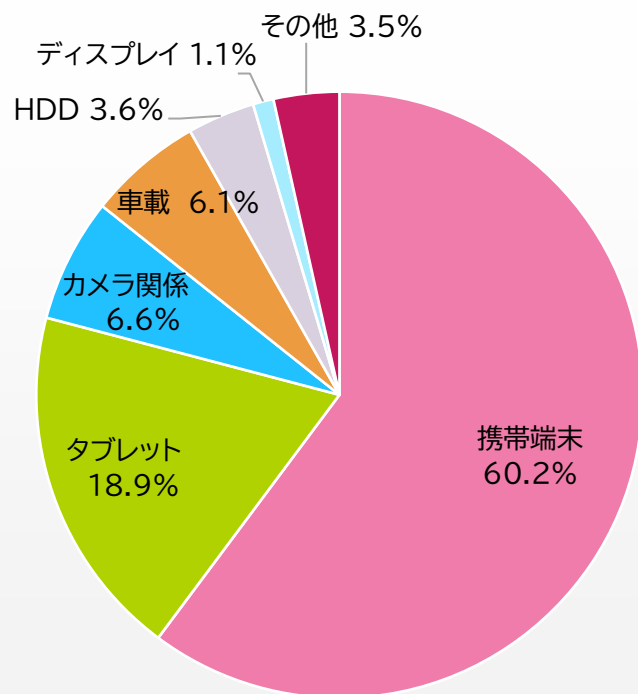


'22年3月期から収益認識基準を適用。(参考として'21年3月期も遡及適用)

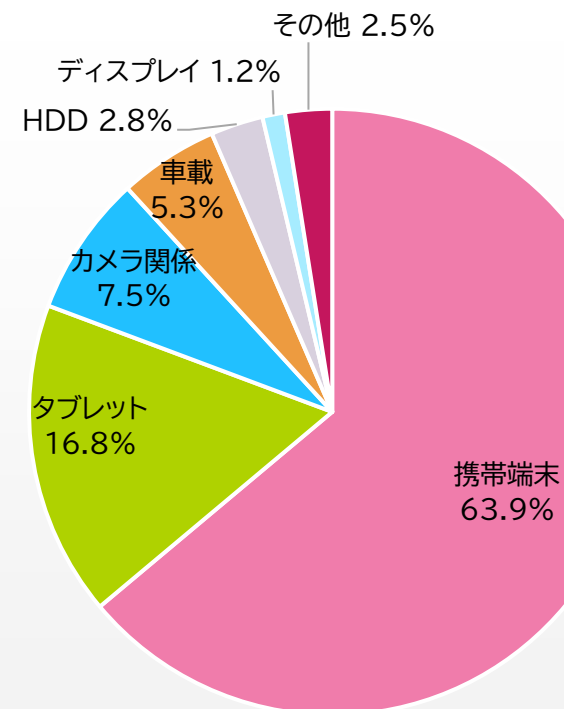


当社製FPC材料の用途

2025年3月期 上期

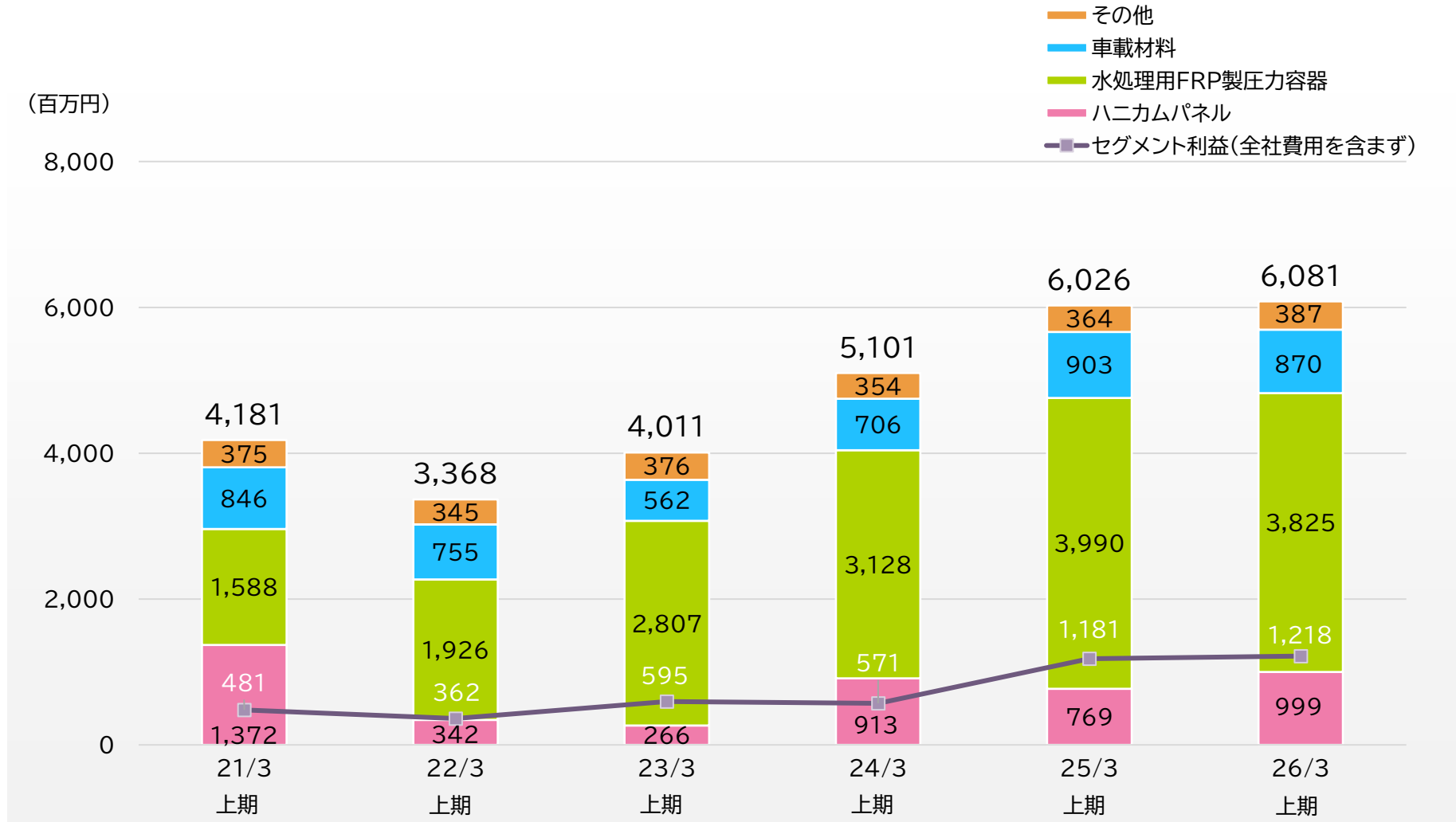


2026年3月期 上期



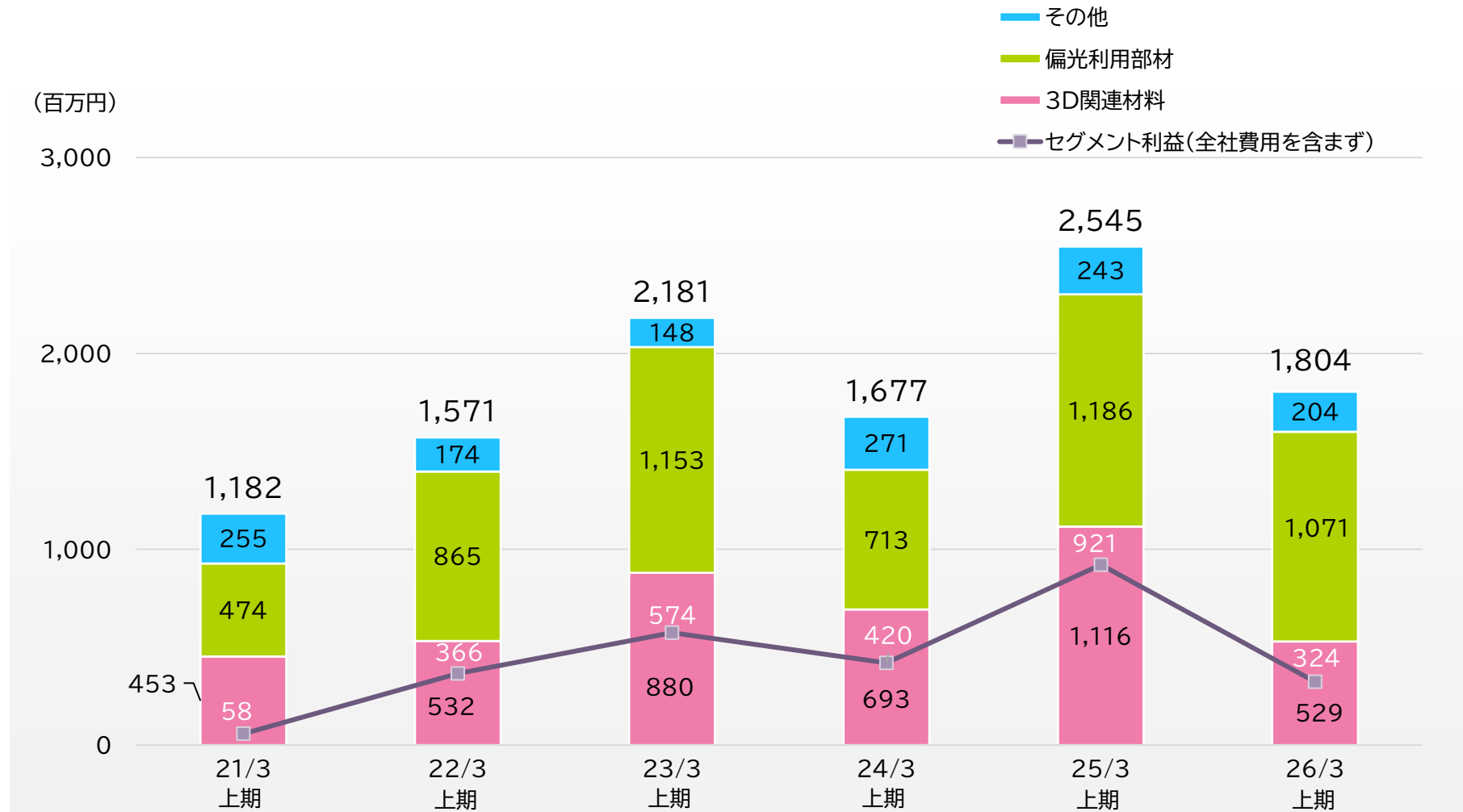
数量ベース
当社推定

産業用構造材料の上期売上高推移



’22年3月期から収益認識基準を適用。(参考として’21年3月期も遡及適用)

ディスプレイ材料の上期売上高推移



’22年3月期から収益認識基準を適用。(参考として’21年3月期も遡及適用)

新製品売上高の推移(単体:月次決算ベース)

売上高(百万円)

新製品売上高比率(%)

= 新製品売上高 / 売上高

差異化製品・応用製品＋環境配慮製品の開発により収益力強化

目標値:新製品売上高比率**50%以上**

新製品の分類と要件

P(Pure)

新規材料・配合・効果、新規加工方法
特許出願またはそれに相当する内容

T(Technical)

大幅な工程改善・生産性向上、
材料・配合の切り替え・改良

S(Sales)

用途展開、モデルチェンジ

E(Eco)

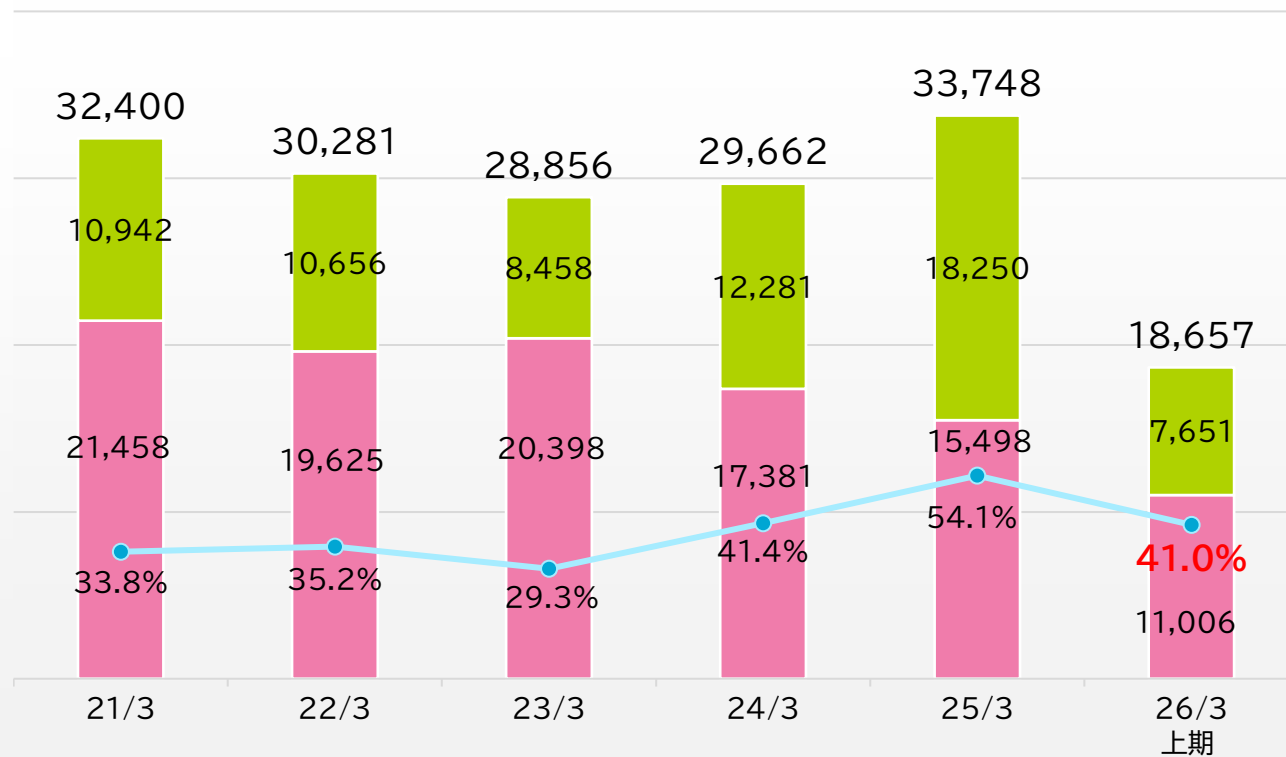
CO2 削減効果のある材料・加工方法の採用や用途、
顧客工程でのCO2 削減 …’**23年3月期より採用**

E-C(E-CO2)

既存品の製造条件の見直しによりエネルギー
使用量を削減 …’**24年3月期下期より採用**

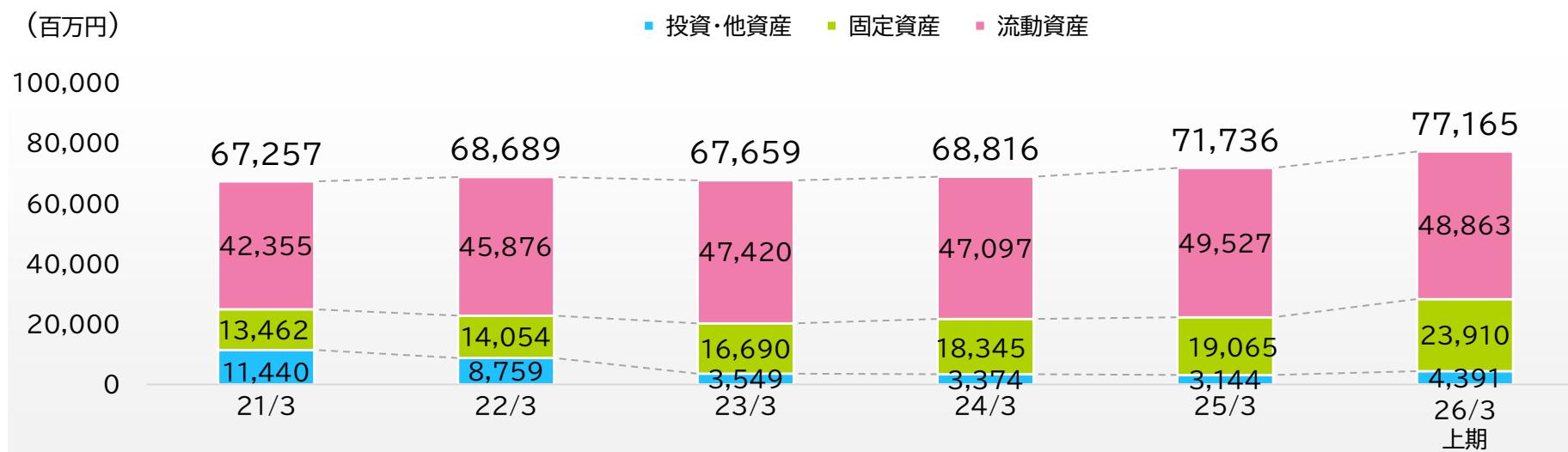
新製品のカウント期間は、販売後3年間。

■ 新製品
■ 既存品
● 新製品売上高比率

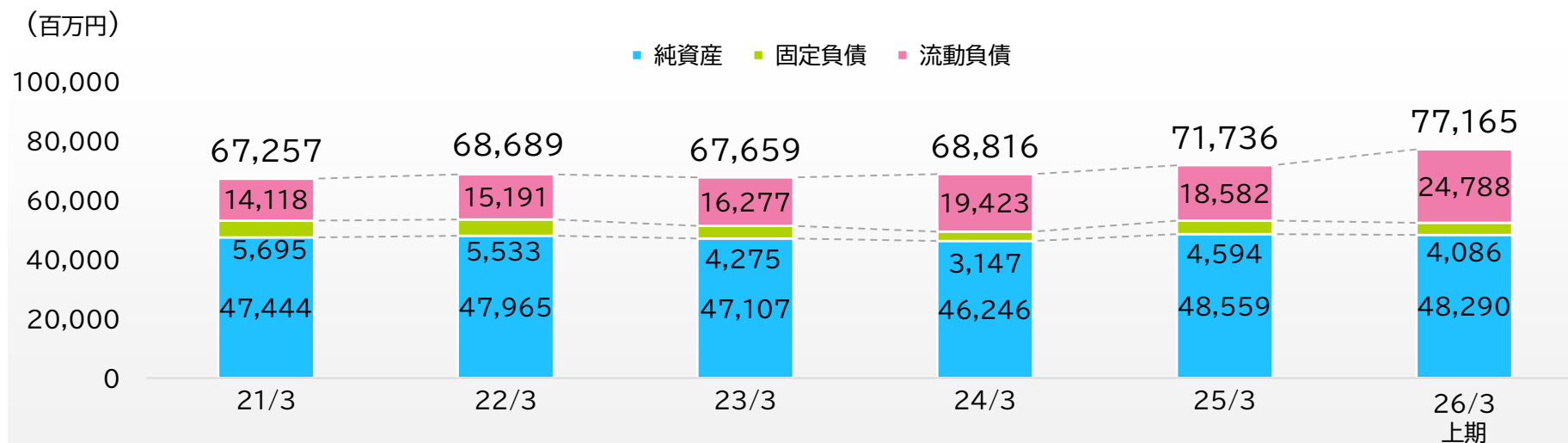


連結貸借対照表(要旨)の推移

資産の部

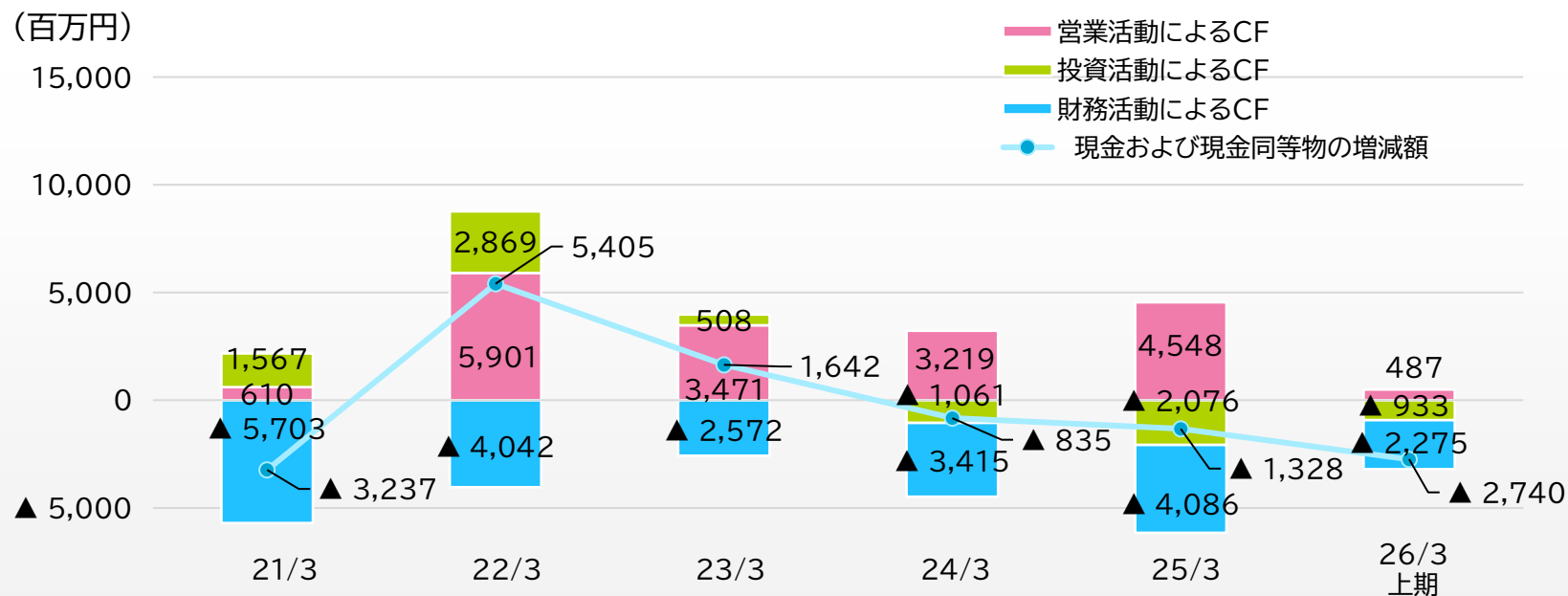


負債・純資産の部



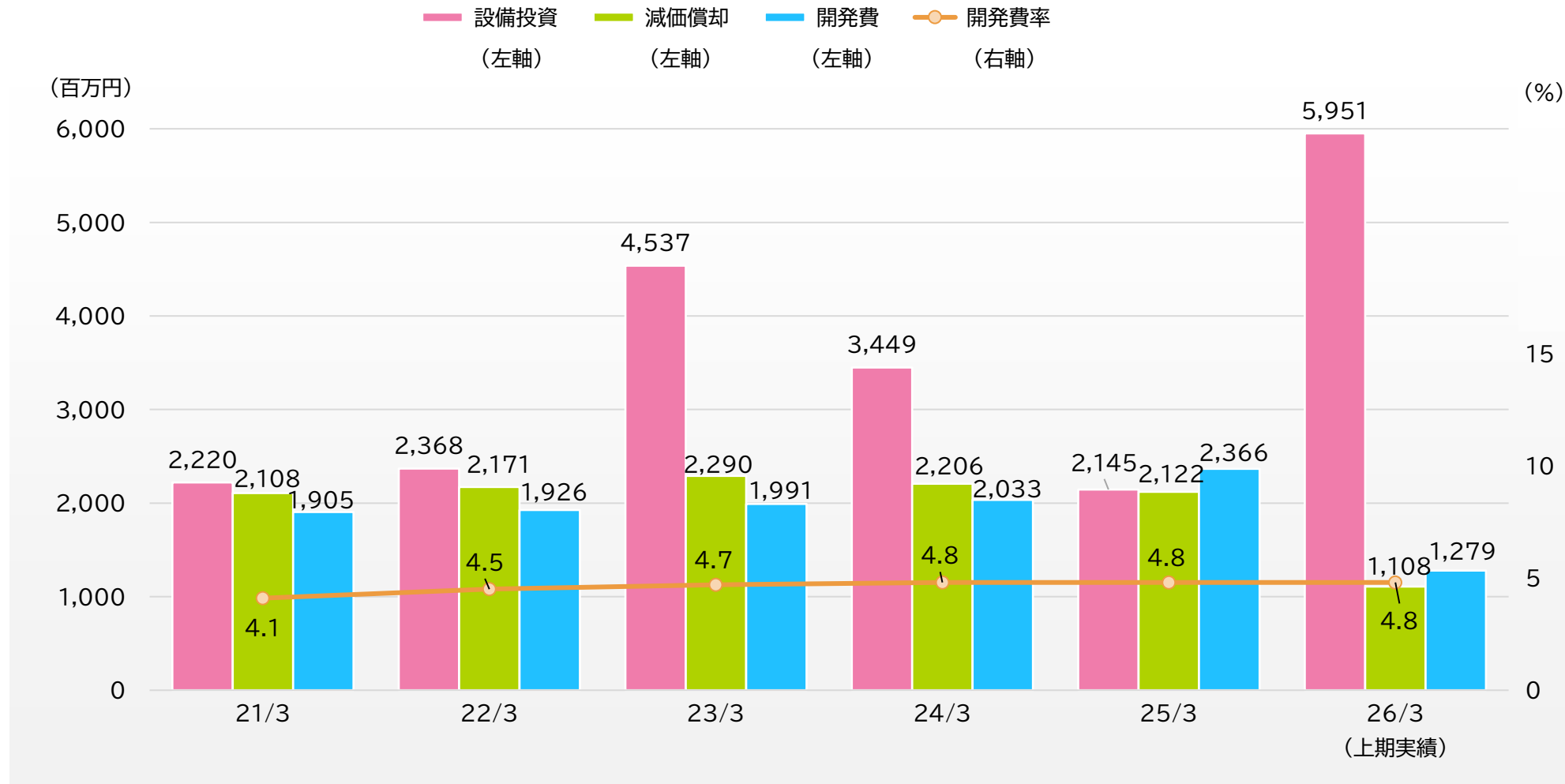


連結キャッシュフローの推移



営業活動によるCF	610	5,901	3,471	3,219	4,548	487
法人税等の支払	-4,970	889	-1,588	-1,016	-559	-644
投資活動によるCF	1,567	2,869	508	-1,061	-2,076	-933
有形・無形固定資産の取得/売却による収支	-1,983	-2,007	-4,375	-3,779	-2,250	-374
投資有価証券の売却/取得による収支	4,938	3,235	6,411	1,087	168	-819
財務活動によるCF	-5,703	-4,042	-2,572	-3,415	-4,086	-2,275
配当金の支払	-995	-1,463	-3,000	-3,641	-2,723	-1,792
自己株式の取得による支出		-82	-748		-122	
ThinFlexの完全子会社化による支出	-4,324	-2,439				

設備投資・減価償却費・開発費の推移



本資料は、株式会社有沢製作所(以下当社)による口頭説明によって補完され、かつ、かかる説明との関連性において検討されるべきものです。当社の事前の書面による同意なしに、本資料およびその内容をいかなる目的にも使用することはできなく、また本資料の内容を公表する権利もしくは第三者に開示する権利を付与するものではありません。

本資料に示されている情報は、当社経営陣の予測に基づくもの、あるいは本資料作成時点における実勢および当社の見解に依拠したものであり、予告無しに変更されることがあります。当社は、公の情報源から入手した情報、その他当社の検討した情報が全て正確かつ完全であることを前提に本資料を作成しており、これらの情報について独自の検証は行っておりません。